



諏訪さん「宇宙開発担う」

JAXA認定、米田さんと会見



JAXAの宇宙飛行士に認定され、記者会見でポーズをとる米田あゆさん（左）と諏訪理さん＝23日午後、東京都千代田区

【問1】 国際月探査「アルテミス計画」に参加している国の数は？

【問2】 宇宙飛行士に認定された諏訪さんと米田さんが所属しているのは？

【問3】 「アルテミス計画」で日本が貢献することは？

宇宙航空研究開発機構（JAXA）の宇宙飛行士に認定された諏訪理さん（47）とつくば市育ちの米田あゆさん（29）が23日、東京都内でそろって記者会見した。諏訪さんは「宇宙開発は過渡期。変わっていく環境に

適応できる宇宙飛行士になりたい」と抱負を述べた。米田さんも「宇宙の魅力を伝えられる飛行士になりたい」と語った。諏訪さんは最年長、米田さんは最年少での認定。2人は来月から、米国のジョンソン宇宙センターを拠点に訓練を積み、宇宙への任務決定を待つ。日本も参加する国際月探査「アルテミス計画」では、諏訪さんらを含めた日本人宇宙飛行士7人の中から2人が選ばれる見通し。

諏訪さんらは訓練期間中、JAXAやトヨタ自動車などが進める月面探査車の開発現場も視察した。探査車について諏訪さんは「日本の技術が詰まっている。月面を走る姿を想像するとわくわくした」と笑顔を見せた。今後について、諏訪さんは難

（今橋憲正）

アルテミス計画 1969年に人類初の有人月面着陸を果たした米国のアポロ計画に続く月探査。米国が主導し、日本や欧州など40カ国以上が参加する。月面に宇宙飛行士が滞在して太陽系の歴史を探るほか、月面での経済圏づくりも目指す。日米両政府は今年4月、日本人の宇宙飛行士2人を月面着陸させることで合意。日本は月面探査車や月の周回軌道に設ける有人拠点の開発で貢献する。アルテミスはギリシャ神話に登場する月の女神で、太陽の神アポロンとは双子。

2024年10月24日付(共同通信社配信)



よ
読めない文字は、かぞくや、ともどちにきいてみてね